

[平成19年度予算審査特別委員会（市民環境分科会）－03月01日-01号]

◆芝田 委員　　こんにちは、ご苦労さまでございます。公明党の芝田でございます。本日は、7項自治振興費の1、地域活動振興費の費目の地域ぐるみの安全体制推進事業、そして街頭犯罪防止対策地域支援事業についてご質問いたします。

身近な問題である問題をきょうは質疑させていただきますけども、最近、凶悪犯罪、そしてまた日常的な犯罪がふえておりまして、毎日、ニュースを見てもですね、また新聞を見ても、多くの事件がありまして、これはいつの事件だったか、そのようなことが感じられる昨今でありますけども、堺市におきまして、こういった地域の犯罪、また街頭犯罪がどのようなのか、まずご質問したいと思えます。

本市における最近5年間の犯罪状況についてお聞かせください。

◎高松 地域活動促進課参事　　本市の最近5年間の犯罪状況についてでございます。本市における刑法犯等の犯罪の認知件数につきましては、平成13年の3万4,000件を境にしまして、平成14年には3万2,000件と前年比2,000件、パーセンテージにしますと、約6.2%の減少となって以降、年々減少に転じておりまして、平成18年には2万2,000件と、ピーク時の平成13年と比較しまして、約1万2,000件、約35%の減少となるなど減少傾向にあります。中でも市民の日常生活において身近に発生します、ひったくり、車上ねらい等の街頭犯罪の認知件数に関しましては、顕著な減少傾向を示しておりまして、昨年中にはピーク時の平成13年と比較しまして、約半数程度になってございます。

このように、本市における統計上の数値は着実に減少しておりますけれども、依然としまして、市民の体感治安、体感治安と申しますのは、実際に肌で感じる治安のよしあしですね、よしあしに関する感覚的なものでございますが、この体感治安を損なう犯罪でございます街頭犯罪、この認知件数に関しましては、平成18年中、約1万3,000件、刑法犯の犯罪認知件数の約59%を占めるなどして、依然として高い数字にあるというふうな現状でございます。以上でございます。

◆芝田 委員　　刑法犯含めて犯罪自身は減っていると、そしてまた日ごろ我々が身近に感じる街頭犯罪も減るということでもありますし、ただ、最後の方で街頭犯罪が全体の中で占める割合は依然と高いということだというふうに思いますけれども、まず、この街頭犯罪をどのようなものがあるのか、私は8ぐらいとは聞いておりますけども、その中身を教えてくださいたいと思えます。

◎高松 地域活動促進課参事　　街頭犯罪でございますが、8罪種と申します。専門的な用語なんですけども、8罪種でございます。まず、ひったくり、それから路上強盗、オートバイを盗むオートバイ盗。それから自動車の車内のものをねらう車上ねらい、それから自動車等を初めとする部品ねらい、部品を盗むことです。それから自動車そのものを盗む自動車

盗、それから自転車を盗む自転車盗、それから自動販売機ねらい、これらが8罪種でございます。以上でございます。

◆芝田 委員 わかりました。それでは次に防犯対策に係る予算額の5年間の推移について、特に先ほど冒頭で言いましたように、地域ぐるみの安全体制の推進事業と街頭犯罪防止対策地域支援事業について、その推移をお聞かせください。

◎高松 地域活動促進課参事 予算額の5年間の推移でございます。防犯事業予算額の推移につきましては、まず、地域ぐるみの安全体制の推進事業、これは各防犯協議会などの防犯活動団体に対する防犯事業の補助金、それから防犯灯設置事業補助金、それから堺市の安全まちづくり会議の開催や犯罪防止の啓発活動、これらの事業費でございます。

平成15年度予算額は1,768万8,000円、平成16年度予算額は1,588万2,000円、平成17年度予算額は1,796万6,000円、平成18年度予算額は3,106万2,000円となっております。平成19年度ご審議いただいております予算額は2,537万5,000円、これを平成15年度と比較いたしまして、約1.4倍となっております。

次に、街頭犯罪防止対策地域支援事業でございますが、これは地域の皆さんの日常防犯活動の支援を目的とした事業でございます。平成15年度から平成17年度の予算額はそれぞれ1,000万円、平成18年度予算額は3,629万8,000円となっております。平成19年度ご審議いただいております予算額は3,813万9,000円、これは平成15年度と比較しまして、約3.8倍となっております。以上でございます。

◆芝田 委員 特に5年間の推移、書類を見せていただきましたけれども、先ほどの答弁ありましたように、平成18年度、今年度から両事業とも伸びがあると、つまり平成18年で大体1.4倍前後、そしてまた平成19年度で1.4倍、そして後の街頭犯罪の支援事業に関しては大体3点何倍ということで、これも18年度に、また19年度は横並びにふえてるということですが、この概要をお示してください。

◎高松 地域活動促進課参事 17年度までは、ごめんなさい。今の地域ぐるみの安全対策の推進事業、これにつきましては防犯灯の設置事業なんかが主なものでございます。17年度につきましては252万、これは大体360灯ということで予算がついてございました。18年度はかなりアップしてございます。1,400万ほどアップしてございます、17年度に比べました。これが防犯灯、約1,000灯で1,300万を計上させていただきました。それで17年度までは、防犯灯に関して申し上げれば、今まで、17年度までは7,000円、これは独立灯と、それから電柱に共架する部分、これ含めまして上限が7,000円、2分の1の補助で上限が7,000円ということではございました。18年度は共架する分については1万円、それから独立灯につきましては4万円と、かなり強力にアップさせていただいております。

それから街頭犯罪地域支援事業、これにつきましては、18年度、17年度と比べて相当アップしてございますが、これも青色防犯パトロール車、これを18年度20台ほど予

定していますが、このパトロール車の購入のために計上したものでございます。以上でございます。

◆芝田 委員 ありがとうございます。特に、防犯灯の設置事業補助金が18年からついたということと、そしてまた街頭犯罪に関しては、この平成18年度から青色パトの導入、譲渡があったということで理解しておきます。

それで、それ以前にですね、堺市も防犯事業に取り組んでおられましたけれども、センサーライト等の設置等聞き及んでおりますけれども、その取り組みの内容と効果についてお示しいただけますか。

◎高松 地域活動促進課参事 これまでの防犯事業の取り組みですが、それと効果でございますが、この各警察署単位に設置されてございます防犯協議会、この防犯事業への補助を行うとともに、警察、防犯協議会等関係機関が相互に連携し、市民の防犯意識向上のため、広報活動を推進してまいりました。また、安全な都市環境づくりに関しましても、防犯灯やセンサーライトの設置促進を図るなどの防犯環境の整備に努めてまいりました。特に、地域安全活動の取り組みの一環としまして、公共の空間でございます生活道路上の電柱等にセンサーライトを設置する事業につきましては、平成15年度から17年度までに44の地域で合計940基のセンサーライトが設置されてございます。さらに、地域の自主防犯活動を促進・支援するために、本年度より青色防犯パトロール車両、いわゆる青パトでございますが、これを市から地域に譲渡する事業、またさらには防犯用のチョッキなどのパトロール用品を支給する事業を実施してございまして、この2月末現在、49団体の登録をいただき、支給を行っておるところでございます。

このような施策を講じることによりまして、地域、市民、事業者等の防犯意識が高まるとともに、街頭犯罪、民事件数に関しましても、大幅な減少を見るなど、犯罪抑止の成果を得てございます。また一方、地域での自主防犯パトロール団体の立ち上げなどで防犯活動を通じまして、地域のコミュニティ、これが活性化の効果もあらわれているんじゃないかな、というふうに考えてございます。以上でございます。

◆芝田 委員 明年度予算で青色回転灯装備車両を購入し、地域に譲渡ということで、平成19年度は新たに20台購入ということで書類をいただいておりますけれども、この青色防犯パトロールの車両譲渡の状況について詳しく説明をお願いしたいと思います。

◎高松 地域活動促進課参事 いわゆる青パトの譲渡の状況でございます。平成18年10月、昨年10月に青パトを7団体、8台を譲渡したところでございますが、平成19年3月、この年度末までには、合計15団体、17台の譲渡を行う見込みでございます。青パトによる自主防犯パトロール活動は、犯罪を企てる者への威嚇抑止効果も高く、市民への防犯意識の高揚を図るとともに、地域を見守ってしてくれると、そういった安心感にもつながる非常に効果的な取り組みと考えておりますが、地域団体が活動を開始するには、団体が組織的・計画的・継続的に防犯パトロールを行うことに加えまして、専用の車両を準備しまして、その保険代やガソリン代等の維持管理費用の負担を行わなければならない

などの問題がございます。これらの問題を見据えまして、地域ぐるみの安全確保のために青パトによる自主防犯パトロール活動を行う団体に対しましては、車両の譲渡を平成19年度も継続するとともに、この維持管理費用についての補助制度を新設してまいりたいと考えてございます。以上でございます。

◆芝田 委員 ありがとうございます。プラスの面と、最後の方ですけれども、実際、現場地域では、専用の車両を準備し、その保険やガソリン代等の維持管理費用の負担を行わなければならない等のマイナス面と言ったらあれですけれども、課題もあるということで、堺市は今回、明年度、維持管理費用への補助制度を提言されておりますけれども、具体的な金額をお示しいただけますか。

◎高松 地域活動促進課参事 維持管理費用への補助制度でございますが、予算案では320万を予定してございます。この詳細な中身については、これからいろいろまだ検討の余地がございますので、予算額は320万という形でご報告させていただきます。以上でございます。

◆芝田 委員 譲渡の台数ですけれども、平成18年度、現時点では9台、今年度末、3月までにはあと9台ですか、それで18台、そして19年度では、先ほど申し述べました20台ということですのでけれども、これで間違いないでしょうか。あくまでも計画予定であると思いますが。

◎高松 地域活動促進課参事 済みません、先ほど芝田委員さんが18と申されましたが、17でございます。失礼しました。そういうことでございます。

◆芝田 委員 何が17台、もう一度お願いします。

◎辻尾 地域活動促進課長 今年度の青パトの地域への譲渡台数は17台ということで、ご報告させていただきます。以上です。

◆芝田 委員 平成18年度で17台ということで、平成19年度の譲渡予定が20台でよろしいんですか。

◎高松 地域活動促進課参事 そうということで結構でございます。以上でございます。

◆芝田 委員 平成20年度の計画予定があれば、今わかっていれば教えていただきたいと思います。

◎高松 地域活動促進課参事 この事業は、18年度、今年度が出発でございます。まだまだ先の見通しのはかり知れないような感じになってございますけれども、18、19、20、この3カ年を予定してございまして、20年度につきましても、そのくらいの台数は、今くらいの台数は見込まれるであろうですが、19年度の以降を見ながら、予定を立てていきたいなと思ってございます。どんな制度についても、一応の期間というのはやっぱり、目標期間というのを設けなあかんということで、3カ年を設けさせていただいてございます。以上でございます。

◆芝田 委員 わかりました。それで、この事業は3カ年ということで、府からの補助金も出て、そしてまた先行的にパイロット事業と聞いております。先ほど、維持管理費用

も平成19年度には新設ということで約320万ということで、17台、20台で37台なんで、平成19年度では大体1台当たり、年間10万弱ということですが、その使い道、詳細は今後検討ということでもありますので、しっかりその辺も計画的に、また何らかはつきりしましたら、またご提示いただきたいなと思っております。

それで、地域の防犯はもちろん地域がまず大事ですし、また、地域のそういった団体、そしてまた行政、そしてまた警察等、また防犯協議会の団体等も含めて進めていくわけですが、この青色パトが譲渡される中で、堺市として、その地域・現場でこういった形で状況とか、また効果、また問題点等を吸い上げるような仕組みがあるのか、また、そういう報告するような手続をとってるのか、お聞かせ願いたいと思います。

◎高松 地域活動促進課参事 青パト車を譲渡いたします。そうすると、やはりいろんな使われ方が出てくる可能性がございます。我々としても、貴重な財産を譲渡しました。それ以上、やはり大事に使っていただかなあきませんし、もっと活用していただかなあきませんので、その遍、状況の把握はやはりしていかなあかんということでございますので、年2回ですね、活動報告という形で、9月30日と3月31日現在までの活動報告書をご提出いただくという、こちらで様式をつくったものをご提出いただくという形でございます。以上でございます。

◆芝田 委員 よろしく願いたいと思います。青色パトの話はもうここで打ち切りまして、今、青色街灯という、特にイギリスのグラスゴーでまちの犯罪があつて、青色のイルミネーションとか青色街灯を使って犯罪が減ったということを受けまして、全国的にそういったまちがですね、そういう犯罪を減らすために独自で、それは地域の自治会、またそういう団体が中心になって、それに行政は補助を出すような仕組みとか、また一部ライオンズクラブ等がそういった補助も出すような流れで、大まか犯罪が減つてると、そしてまた抑止効果もあつてよくなったという声が上がっておりますけれども、当局として、この青色街灯、また青色という犯罪を抑止、また防止する観点から、どのような見解をお持ちか、お聞かせ願いたいと思います。

◎高松 地域活動促進課参事 この青色防犯灯につきましては、一昨年ですか、テレビでイギリス、スコットランド、グラスゴーのある通りで、街灯を従来からのオレンジ色から青色の光に変えましたら、犯罪が減少したというふうな紹介がございました。これを受けて、各行政が関心を持って、あるいは民間団体さんが皆関心を持って、この青色防犯灯導入につきまして、いろいろ研究あるいは実施されているところでございます。奈良市の秋篠台地区の防犯灯を青色に変えた、あるいは奈良県の県庁前の県警本部前なんかも青色に変えてございます。こういったことで、かなり全国的に青色がいいんじゃないかということで取り組まれてございます。ただ、これにつきましても、いろいろまだ課題がございます。例えば電球ですね、この寿命がちよっと短いとか、あるいは電球代が高いとか、あるいは電気代が高いとか、いろいろなマイナス面もございます。

ですから、総合的に、この導入促進につきましては、やはりこれからまだいろいろ実態

を見ながら検証していかなあかんやろうということはありません。ですから、犯罪発生地域のとり方とか、その機関、罪種とか、他の防犯活動との関連などをもう少し推移を見ながら、この青色防犯灯、ただ、この青色防犯灯につきましては、行政が補助金を出して今取り組んでいるというところはございませんので、その辺をもう少し見きわめながら研究してまいりたいと考えてございます。以上でございます。

◆芝田 委員 ありがとうございます。私がもう一つ質問した青色の効果ということで、私の方から、資料をもとにお話しさせていただきますと、青色は興奮を抑え、また気持ちを落ち着かせる色とされていると、犯罪を防止するには効果的であると。反対に、赤色は威嚇的で、犯人を追い詰めるときや警告するときに使用しますということと、また、青色街灯は蛍光灯よりも明るく、人や建物の輪郭がはっきり見える利点があるということで、遠くから見られるということで、犯罪を起こそうと意図する人に抑止効果があるということとを聞き及んでおりますけれども、本市でも、そういった限られた地域で、そういう青色街灯の動きがあるや否やと聞いておりますが、もし当局が知ってる範囲であれば、教えていただきたいと思えます。

◎高松 地域活動促進課参事 本市では、自治会さんでございまして、百舌鳥校区の自治連合会、ここが昨年の12月に百舌鳥梅町の方で約28灯ほど設置しているということとを聞いてございます。これにつきましても、いろいろ住民さんのアンケートをとりまして、一応効果があったという、今後継続していったらどうかというふうなことで72%ほどの賛同する声があったということでございます。本当にこういうアンケート、これから、青色防犯灯についてはその前後比較ですね、いわゆる前はその地区はどうであったか、それからその防犯灯、青色をつけてから後どうなったか、そういうふうな経過を数字で見えないと、なかなか難しいところがございます。そういった現実、百舌鳥校区につきましては、これからちょっと我々としても重点的に着目してまいりたいと、そのように考えてございます。以上でございます。

◆芝田 委員 そしたら最後に、地域の防犯活動への当局の考え方についてお示しいただけますか。

◎高松 地域活動促進課参事 地域の防犯活動への考え方でございますが、子ども等社会的弱者が被害を受ける犯罪が多発しています。手口も凶悪・巧妙化する昨今、安全で平穏な地域社会を実現するためには、警察等関係機関や行政による取り組みに加えまして、市民による地域での自主的な防犯活動と総合的な連携が必要不可欠だと、そのように考えてございます。本市といたしましても、市民一人一人が自分たちの安全は自分たちで守る、地域の安全は地域で守るという自主防犯意識の醸成と高揚を図るとともに、防犯パトロール等地域での自主的な防犯活動の立ち上げと活性化を促進してまいりたいと考えてございます。

堺市安全まちづくり会議を構成します防犯協議会、それから警察など関係機関、事業者、市や地域の防犯活動団体、学校など、それぞれが連携しまして、地域ぐるみの効果的な取

り組みを進めてまいりたいと、そのように考えてございます。以上でございます。

◆芝田 委員 最後に要望を3点ほど申し述べて終わりたいと思います。

公明党が、空き交番ゼロをめざすというようなことを取り組んでおりますし、また、警察官増員もかちとった成果としてあるわけですが、やはり自分の北区ですけども、住んでるところで、やはり若い子がたむろしてるところとか、また暗いところなんかですね、警察、またパトロール車が通れば、地域の方が、最近、警察のパトロールが来て、ちょっと減ったわというような声が上がったりしまして、そのように自分が地域で、また現場で聞いたことを警察署に伝えて回ってもらったりしてるんですけども、やはり警察、特にパトロールカーが回るということは、すごい抑止効果がありますので、先ほど、最後の答弁で言っていただきましたように、警察との連携をしっかりとっていただきまして、地域の犯罪を減らしていただきたいということが1点であります。

そしてまた、先ほど言いました青パトの譲渡の件でもですね、3カ年事業ということで決まってるからやるということだけに終わるんじゃないかと、しっかり、18年の途中で譲渡になったので、まだまだこれから効果検証を見きわめていくときだと思っておりますけれども、しっかり、先ほど言いましたように、半年に1回のそういう報告等もしっかり提出いただきまして、また地域のそういった問題点も、このお金だけじゃなくて、ソフトの面も行政としてかかわっていただきたいというように思います。

最後に、3点目は青色街灯の設置も一部地域で始まっているということで、いろんな賛否両論、また少数派の意見を無視することはできませんので、そういった意味で、しっかりこの辺も情報収集していただきまして、堺市の犯罪、特に街頭犯罪を減らして、そしてまた、住んでよかった、暮らしてよかったと、また移り住んでよかったと言えるような堺市にしていただくように、当局の皆さんのご尽力を今後も望みまして、私の質問を終わらせていただきます。ありがとうございました。